

弥永コレクション



旧弥永北海道博物館

貨幣史や砂金を研究する弥永芳子さんが、3階建ての自宅を改築して1985（昭和60）年に私設博物館として開館した「弥永北海道博物館」。2015（平成27）年に閉館するまで、貨幣、鉱山関係、砂金・砂白金、琥珀、黄金美術品、アイヌ民族資料などの資料を中心に約12万点を収蔵し、そのうち約1万点を展示していました。

その膨大なコレクションの一部が北海道博物館に寄贈されたのを機会に、弥永さんの歩みを振り返りながら、貨幣や砂金・砂白金などの寄贈資料を紹介します。

展示構成

貨幣コレクション



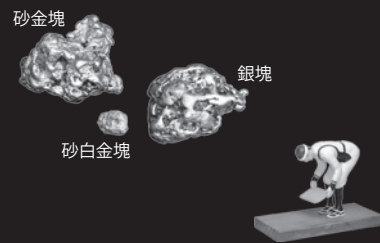
世界の貨幣

化石コレクション



恐竜時代の亀の化石

貴金属コレクション



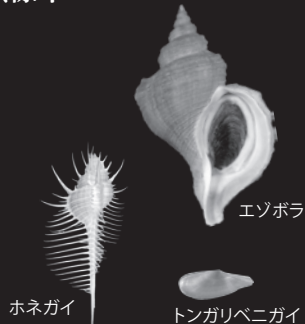
砂金掘り人形

美術資料



ボロヤ図 高橋波藍（たかはしはらん）筆

貝類標本



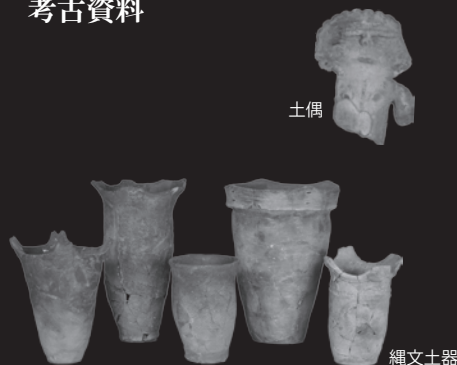
ホネガイ

トンガリベニガイ



旧弥永北海道博物館 第2展示室

考古資料



土偶

縄文土器

アイヌ民族資料



手甲

脚絆

やなが よしこ 弥永芳子氏 略歴

1919（大正8）年、札幌生まれ。
元弥永北海道博物館館長。
1975（昭和50）年に北海道貨幣史研究会を発足。日本貨幣協会評議員、北海道貨幣史研究会会長、全日本砂金掘り協会顧問。
貨幣と砂金や砂白金（プラチナ）の研究者として活躍。

交通案内

- バス 新札幌駅から……バスターミナル・のりば10（北レーン） ジェイ・アール北海道バス 新22「開拓の村」行きに乗車し、「北海道博物館」で下車
森林公園駅東口から……森林公園東口のリバ 新札幌駅から上記のバスが森林公園駅を経由します ※駅から北海道博物館まで徒歩で20～25分
大森江別方面から…ジェイ・アール北海道バス・夕鉄バス新札幌方面行に乗車し、「厚別東小学校前」で下車（バス停から徒歩15分）
- タクシー 新札幌駅から……約10分

